

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）充当事業の検証について

No.	1	事業名 (計画年度)	スマートプラットフォーム構築 事業 (令和5年度)	担当課	DX推進課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	「まち」づくり			
	施策の基本的方向	効率的な行財政運営の推進			
事業概要	<p>現在、各種手続の案内や申請等は市ホームページに掲載しているが、オンライン申請ができる手続については、別の電子申請システム専用ページを案内しており、市民にとっては手続の内容に応じて入口が複数ある状態である。そこで、オンライン上での窓口を市公式LINEに一本化し、市民がスマートフォン等によりワンストップで市役所へ手続や相談等ができる「スマホ市役所」の環境を整備するため、本事業において、それらのプラットフォームを構築する。</p>				
令和5年度 総事業費	1,582,400円	交付金の種類 (補助率)	デジタル実装タイプ (1/2)		
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> 1 公式LINEを入口とした行政サービスの提供 2 行政手続のオンライン申請環境の整備 3 年齢、居住地域等に応じた情報発信 4 市民向けアンケート機能の実装 				
重要業績評価指 標 (KPI) ①	指標	市公式LINE友だち累計数			
	目標値 (R6)	10,000人			
	実績値 (R5)	9,431人			
重要業績評価指 標 (KPI) ②	指標	電子申請可能な手続数			
	目標値 (R6)	80件			
	実績値 (R5)	113件			
重要業績評価指 標 (KPI) ③	指標	市公式LINEによる情報発信件数			
	目標値 (R6)	220件			
	実績値 (R5)	157件			
重要業績評価指	指標	手続件数に対する電子申請割合			

標 (KPI) ④	目標値 (R6)	10%
	実績値 (R5)	24%
重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標	市公式 LINE の満足度
	目標値 (R6)	3.5 ポイント
	実績値 (R5)	3.4 ポイント
重要業績評価指標 (KPI) ⑥	指標	市民意識調査の結果
	目標値 (R6)	5 ポイント
	実績値 (R5)	0 ポイント
事業効果 ※選択肢 ① 地方創生に非常に効果的であった ② 地方創生に相当程度効果があった ③ 地方創生に効果があった ④ 地方創生に対して効果がなかった		② 地方創生に相当程度効果があった
事業効果の 選択理由等	<p>本事業は、市公式 LINE を核にしたプラットフォームを構成することで、市民に行政情報を届けるだけでなく、さまざまな行政手続きをオンライン化することができ、市民サービスの向上に大きく寄与する、行政の DX 化の目玉といえる事業である。</p> <p>電子申請手続き件数や手続きの電子申請割合における KPI について初年度の目標を達成できており、今後デジタルを活用した地方創生の取組を推進していく上で、本事業において構築したプラットフォームがさまざまな施策の下支えになり得ると期待されるが、初年度を終えたのみであるため、「②地方創生に相当程度効果があった」とした。</p>	
実績値を踏まえた事業の今後について	今後の方針 ※選択肢 ① 追加等更に発展させる ② 事業の見直し(改善) ③ 事業の継続 ④ 事業の中止 ⑤ 予定どおり事業終了	③事業の継続
	理由	「電子申請可能な手続き数」や「手続き数に対する電子申請割合」が初年度の目標値を達成し、順調に事業を開始できていることから、継続して事業を実施することとします。

外部有識者からの評価	事業の評価	地方版総合戦略の KPI 達成に有効であった	○
		地方版総合戦略の KPI 達成に有効とは言えなかった	
	外部有識者からの意見	<p>来年度から「デジタルを活用した地方創生」を目指す次期総合戦略に移行するに当たり、本事業は行政のDX化を推進するためのベースシステムとなり得るとともに、市民と行政の距離を縮め、次期総合戦略に位置づける各種事業等への市民参画を促すことが期待される。</p> <p>また、高齢者を始めすべての世代の市民が電子手続きを利用できるよう、電子手続きのメリットを更に周知すると共に、ITリテラシーの向上を図るため、教育機関との連携、セミナーの開催、相談窓口の充実なども検討されたい。</p>	